

( 第3学年 国語科 )

教科のねらい

- 国語への興味や関心を持ち、意欲的に学習をすすめる態度を育てる。
- 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞く力を身につけさせ、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。
- さまざまな材料をもとに自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして論理的に整理して表現する力を身につけさせる。
- 目的に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する力を身につけさせ、読書によって自己を向上させようとする態度を育てる。
- 漢字や言葉の意味を理解し、用途に応じて使い分ける力を身につけさせ、正しく美しい文字を書く力を育てる。

☆学習を進めるに当たって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書 国語（光村図書） 新しい書写（東京書籍）</li> <li>○ 副教材 国語の学習（浜島書店）、漢字練習ノート（とうほう）</li> <li>○ 新国語便覧（浜島書店）</li> <li>○ すらすら基本文法（浜島書店）、国語の学習（浜島書店）</li> </ul>	持ち物	教科書、ノート、国語の学習 その他（各単元で必要なもの）
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題を的確に把握し、課題に対して前向きに取り組む。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問に思ったことや、わからなかったことを解決する努力をする。</li> <li>・学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。</li> </ul> </li> <li>○自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかったこと、解決できたことに自信を持つ。</li> </ul> </li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○予習として、教科書を読み、新出漢字の練習をしておく。（「漢字練習ノート」）</li> <li>○復習として、授業で習ったところを、ノートやワーク（「よくわかる国語の学習」）等で確認する。漢字の小プリントのできなかつたところをやり直しておく。</li> <li>○宿題・提出物を、期限までに着実に仕上げる。</li> <li>○計画表に従って整理と対策の学習を進め、基礎・基本の習熟に努める。（翌日の補充学習の時間に習熟度をチェックする。）</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲はテスト発表時に通知する。</li> <li>○授業中に学習したところを復習しておく。</li> </ul>		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャイムが鳴るまでに着席し、漢字小プリント（「漢字のトレーニング」）を始められるようにしよう。</li> <li>○授業中は先生や発表する人の話をよく聞き、気持ちを集中しよう。</li> <li>○積極的に自分の意見を発表しよう。</li> <li>○黒板に書かれたことは、正確にノートに写し、自分の考えや感想も書き込もう。</li> <li>○提出物は期限を守って提出しよう。</li> <li>○ノートまとめなど個人の学習が早くできて時間に余裕が生まれたときは、読書・ワーク・漢字の学習・予習・復習から各自が課題を選択し、自学自習を進める。</li> </ul>		

学 習 計 画				評価にあたって	
学期	月	単 元 計 画	試 験	評価観点	評価の場面・方法
1	4	随筆「朝焼けの中で」 論説「批評の言葉をためる」 言葉1「和語・漢語・外来語」	中 間	<国語に対する関心・意欲・態度> 国語に興味・関心を持って、意欲的に学習に取り組んでいる。学習した内容を振り返り、自分の力にしようとしている。	・授業の準備 ・漢字小プリント・漢字六十三題テストへの取り組み方 ・発言・発表の様子 ・行動観察 ・ノートや課題の提出状況
	5	説明「夜は暗くてはいけないか」 〃 「月の起源を探る」 話す「自分の魅力を伝えよう」			
	6	漢字1「熟語の読み方」 小説「いちご同盟」 俳句「俳句の可能性」 「俳句十六句」			
2	7	言葉「言葉を使おう」 文法への扉1 小説「蟬の声」「高瀬舟」 随筆「光で見せる展示デザイン」	期 末	<話す・聞く能力> 相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に応じて、的確に話したり聞いたりすることができる。	・話を聞く様子 ・発表の内容・様子 ・討論の内容・様子 ・定期テスト
		書写（硬筆・行書） 読書案内、随時課題作文			
	9	詩「挨拶」 詩「水クダサイ」 言葉2「慣用語・ことわざ・故事成語」 随筆「記憶と資料」			
10	古文「古今和歌集 仮名序」 「君待つと 万葉・古今・新古今」				
11	「夏草 奥の細道から」 「古典の伝統」				
3	12	漢文「学びて時にこれを習ふ」	期 末	<読む能力> 文章の筋道をとらえながら正確に読み、内容を理解することができる。表現の仕方や文章の特徴に注意して読むことができる。	・授業中の朗読 ・授業中の課題 ・定期テスト
		書写（毛筆・行書） 読書案内、随時課題作文			
	1	論説の比較「論理の展開に着目して読もう」 文法への扉2			
2	論説「ネット時代のコミュニケーション」 漢字2「漢字の造語力」 小説「故郷」				
3	◇季節のしおり（春夏秋冬）  随時課題作文				